

暁星中学校・高等学校と高大連携に関する協定を締結

順天堂大学（東京都文京区、代田浩之学長）と暁星中学校・高等学校（東京都千代田区、高田裕和校長）は、令和7年8月20日、高大連携に関する協定を締結しました。

暁星高等学校は、明治21（1888）年に創立された仏系カトリック男子校です。幼稚園・小学校・中学校を併設した幼小中高一貫教育を行っており、高等学校においては生徒を募集しない完全中高一貫教育を実践しております。

カトリック精神に基づく教育を進めると共に、語学教育（英語／仏語）を重視しており、国際社会で活躍されている人材を多数輩出しております。また、生徒の個性を重視しつつ自主性を育むために、少人数教育を生かした丁寧な指導を行っております。



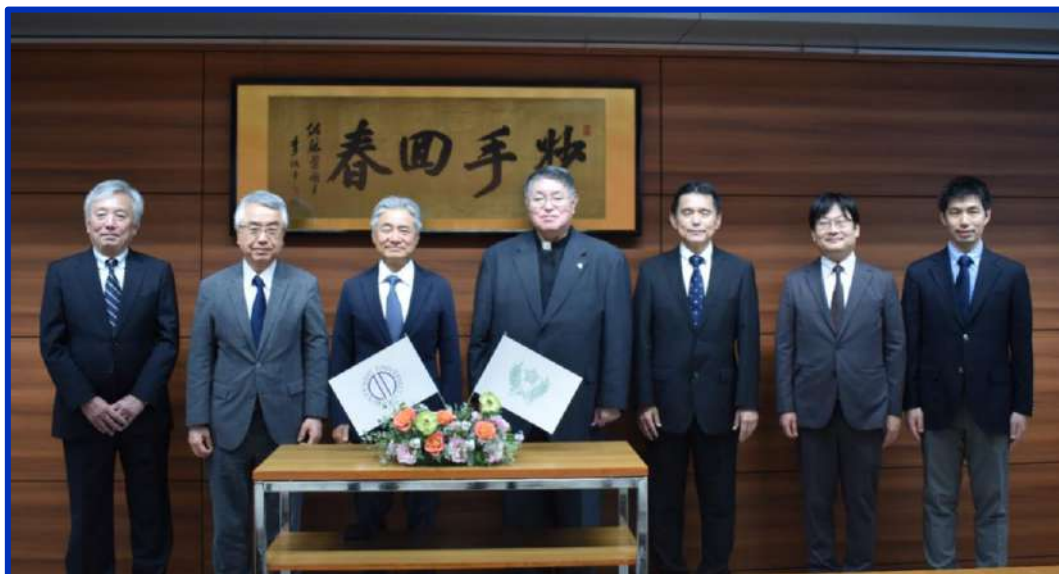
医療を始めとした健康関連の各分野を、国際的な視野を持ち様々な角度から追究している本学との交流事業を通じて、将来の目標や希望を叶える為の発見を得て、探究への動機付けとなる事が期待されます。

【協定の目的】

- 相互の教育に係る交流と連携を通じ、高等学校教育及び大学教育の活性化を図る
- 相互の伝統と建学の精神及び教育目標を尊重しつつ、信頼関係に基づき、より有効な教育を構築していくことを目指し、双方の教育機能について交流及び連携を行う

【取組み内容】

- 1) 教育についての情報交換、並びに教員及び学生・生徒の交流
- 2) 順天堂大学の教員による、暁星中学校・高等学校に対する出張授業の実施
- 3) その他、双方が協議し同意した事項



左より

（順天堂大学）長登健 アドミッションセンター事務局長、高橋和久 医学部長、代田浩之 学長
（暁星中学校・高等学校）高田裕和 校長、佐々木和彦 教頭、吉永昌弘 進路指導部長、大橋淳一郎 教務副部長